

第 3 5 期 計 算 書 類

自) 平成 3 0 年 4 月 1 日
至) 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 8,855,119,744】	【流動負債】	【 7,208,166,065】
現金及び預金	43,961,754	買掛金	3,162,794,181
売掛金	7,537,499,247	CMS 短期借入金	1,849,979,040
未成工事支出金	818,949,796	リース債務	197,779,508
原材料及び貯蔵品	94,201,781	未払金	770,561,989
前払金	243,792,640	未払費用	127,090,254
前払費用	105,574,923	未払法人税等	102,006,700
未収入金	1,116,848	未払消費税等	67,686,200
立替金	7,373,279	預り金	114,936,880
仮払金	2,649,476	賞与引当金	815,331,313
【固定資産】	【 4,929,464,669】	【固定負債】	【 1,482,468,668】
(有形固定資産)	(3,557,941,135)	リース債務	1,096,255,273
建物及び建物付属設備	1,009,758,947	退職給付引当金	372,656,355
構築物	122,541,523	役員退職慰労引当金	13,557,040
機械装置	118,603,445	負債合計	8,690,634,733
車両運搬具	153,519,835	純資産の部	
工具器具備品	596,682,712		
土地	370,857,194	科 目	金 額
リース資産	1,177,711,829	【株主資本】	【 5,093,949,680】
建設仮勘定	7,780,000	【資本金】	【 90,000,000】
その他有形固定資産	485,650	【利益剰余金】	【 5,003,949,680】
(無形固定資産)	(234,629,546)	利益準備金	22,500,000
電話加入権	5,016,320	(その他利益剰余金)	(4,981,449,680)
ソフトウェア	221,558,133	別途積立金	1,350,000,000
その他無形固定資産	8,055,093	繰越利益剰余金	3,631,449,680
(投資その他の資産)	(1,136,893,988)	純資産合計	5,093,949,680
投資有価証券	45,925,000	負債・純資産合計	13,784,584,413
長期前払費用	1,475,957		
敷金保証金	253,327,962		
繰延税金資産	836,122,729		
その他投資	42,340		
資産合計	13,784,584,413		

損 益 計 算 書

自 平成 30年 4月 1日 至 平成 31年 3月 31日

株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売上高	30,407,040,578	30,407,040,578
【売上原価】		
売上原価	27,383,082,411	27,383,082,411
売上総利益		3,023,958,167
【販売費及び一般管理費】		2,178,556,792
営業利益		845,401,375
【営業外収益】		
受取利息配当金	4,085,778	
その他	26,525,700	30,611,478
【営業外費用】		
支払利息	3,907,474	3,907,474
経常利益		872,105,379
【特別損失】		
有形固定資産除却損	502,447	
その他	1,270,268	1,772,715
税引前当期純利益		870,332,664
法人税, 住民税及び事業税		378,766,518
法人税等調整額		△113,158,443
当期純利益		604,724,589

株主資本等変動計算書

自 平成 30年 4月 1日 至 平成 31年 3月 31日

株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

(単位：円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金			
			別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	90,000,000	22,500,000	1,350,000,000	3,596,582,031	4,969,082,031	5,059,082,031
当期変動額						
剰余金の配当				△569,856,940	△569,856,940	△569,856,940
当期純利益				604,724,589	604,724,589	604,724,589
当期変動額合計	0	0	0	34,867,649	34,867,649	34,867,649
当期末残高	90,000,000	22,500,000	1,350,000,000	3,631,449,680	5,003,949,680	5,093,949,680

独立監査人の監査報告書

令和元年5月17日

株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

取締役会 御中

EY新日本 有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士
業務執行社員

伊藤 陽子 

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に準じて、株式会社ネクスコ東日本エンジニアリングの平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第35期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

主な科目の年度別推移

	科 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		7,133	6,394	7,888	6,127	7,411	8,247	7,384	6,882	8,487	8,548	8,855
貸借対照表	流動資産	1,084	1,121	1,107	2,559	2,458	2,478	2,394	2,514	3,011	3,425	4,929
	固定資産	4,653	3,692	5,024	4,471	5,299	5,636	4,655	4,294	5,876	6,193	7,208
	流動負債	924	753	860	1,042	1,067	1,131	829	669	691	721	1,482
損益計算書	固定負債	16,195	17,299	20,357	19,506	21,316	22,827	24,869	25,798	28,421	28,157	30,407
	営業収益	15,464	16,868	20,131	19,179	20,739	21,618	23,782	24,764	27,011	26,910	29,561
	営業費用	445	397	158	141	429	755	784	687	978	814	604
	当期純利益											

単位:百万円

営業収益の年度別推移

